英語圏の文学Ⅰ

科目ナンバリング　LIE-101
選択　　2単位

大野　雅子

1. 授業の概要（ねらい）

この授業においては、イギリスの16世紀～19世紀の代表的な文学作品をいくつか取り上げ、テーマ、ストーリー、英語表現、英語の韻律に焦点を置いて講義を行う。英語を学ぶということは英文学を学ぶことである。英文学を読むことなく洗練された表現や感情の機微を的確に表す表現を身につけることはできない。授業は基本的に英語で行うので、日本語を介在せずに英語を理解する能力を増進する。学生の理解度を確認するために、毎回の授業後半で、説明した内容に関して英語で質疑応答する、英語でコメントを書く、英語でプレゼンテーションを行うなどのアクティビティーを実施する。

2. 授業の到達目標

1. 英文学の基礎的知識を修得する。
2. 文学を批評的観点から読むことによって思考力を養う。
3. 英語の速読力を身につける。
4. 英詩の韻律の分析方法を修得する。
5. 英語のリスニング力を増強する。

3. 成績評価の方法および基準

授業内発表 と授業内提出物60%、中間テスト20%、期末テスト20%

4. 教科書・参考文献

教科書
プリント配布
参考文献
河合祥一郎訳　新訳ロミオとジュリエット　角川文庫
河合祥一郎　シェイクスピアの正体　新潮文庫
河合祥一郎　あらすじで読むシェイクスピア全作品　祥伝社新書
平井正穂訳　失楽園　上下　岩波文庫
平井正穂　イギリス名詩選　岩波文庫
河合祥一郎訳　新訳夏の夜の夢　角川文庫
阿部知二訳　高慢と偏見　河出文庫

5. 準備学修の内容

積極的に授業に参加し、積極的に英語を話そうとすることが重要である。15週間積極的に授業に参加すれば、確実に英語力が伸びていることを実感するであろう。

6. その他履修上の注意事項

積極的に授業に参加し、積極的に英語を話そうとすることが重要である。15週間授業に参加したあとは英語力が如実に伸びていることを実感するであろう。

7. 授業内容

【第1回】　授業説明、シェイクスピア『ロミオとジュリエット』(1)概要
【第2回】　シェイクスピア『ロミオとジュリエット』(2)一目惚れ
【第3回】　シェイクスピア『ロミオとジュリエット』(3)バルコニーで愛の誓い
【第4回】　シェイクスピア『夏の夜の夢』(1)妖精
【第5回】　シェイクスピア『夏の夜の夢』(2)恋の三色菫
【第6回】　ミルトン『失楽園』(1)アダムとイヴ
【第7回】　ミルトン『失楽園』(2)エデンの園
【第8回】　まとめと中間テスト
【第9回】　ワーズワース「水仙」
【第10回】　コールリッジ「クブラ・カーン」
【第11回】　キーツ「ナイチンゲールに寄せて」
【第12回】　シェリー「西風に寄せて」
【第13回】　ジェイン・オースティン『高慢と偏見』(1)高慢と偏見
【第14回】　ジェイン・オースティン『高慢と偏見』(2)結婚
【第15回】　まとめと期末テスト